

第**114**期

## 中間報告書

2022年4月1日 > 2022年9月30日





代表取締役社長  
社長執行役員

木村 彰吾

## — ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第114期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)における事業の概況についてご報告申し上げます。

## — 業績の概況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染防止と経済活動の両立が進み、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの動きが見られたものの、ロシア・ウクライナ危機に起因したサプライチェーンの混乱により半導体部品等の供給不足が継続し、資源・エネルギー価格の高騰及び日米金利差の拡大を背景とした急激な円安の進行に伴い、物流コスト・原材料価格が高止まりとなるなど、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループでは中期経営計画「REBORN」の基本方針に則り、徹底した固定

費削減と成長戦略の促進を実現するための抜本的な構造改革を推進しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上収益は110億1千6百万円(前年同期比1.8%増)、営業損失は4億6千5百万円(前年同期は2億8千3百万円の営業損失)、経常損失は4億3千2百万円(前年同期は2億1千7百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億2千2百万円(前年同期は1億4千万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

以上により、当中間期の配当金については、見送らせていただくことといたしました。事情をご賢察の上、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## — 今後の見通しと対応施策

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては、2022年5月13日に公表しました通期の業績予想から変更はありません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は様々な要因により、予測数値と異なる可能性があります。特に物流コスト・原材料価格の上昇については、価格転嫁を含め、対応を強化していく方針ですが、その進展状況により業績に影響を及ぼす可能性があります。今後、市場動向など各種情報の収集に努め、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表します。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結業績の推移

## 売上収益

110.2億円

前年同期 108.2億円

## 営業損失

△4.7億円

前年同期 △2.8億円

## 経常損失

△4.3億円

前年同期 △2.2億円

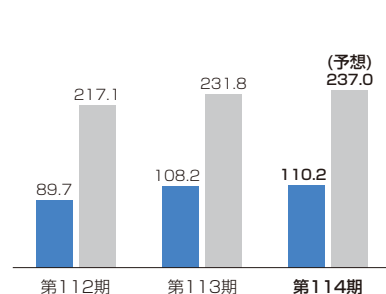
## 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失

△4.2億円

前年同期 △1.4億円

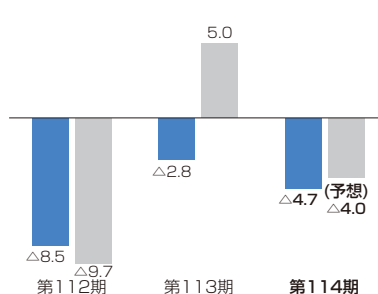
売上収益 (単位:億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



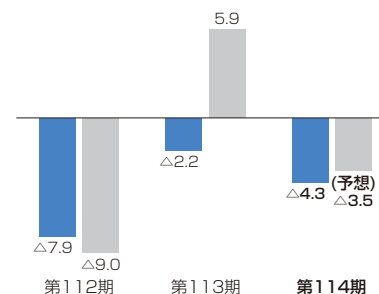
営業損益 (単位:億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



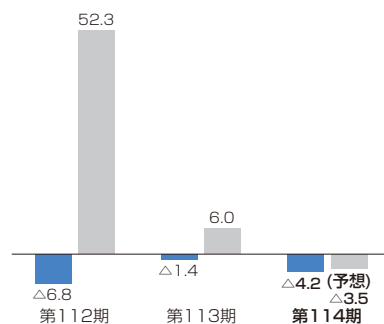
経常損益 (単位:億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



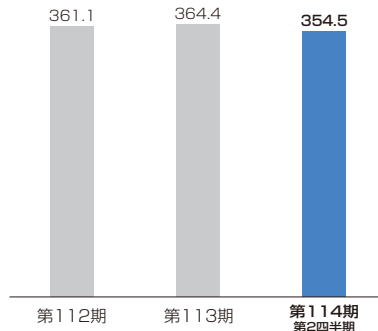
親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益 (単位:億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



総資産 (単位:億円)

■ 第2四半期 ■ 通期

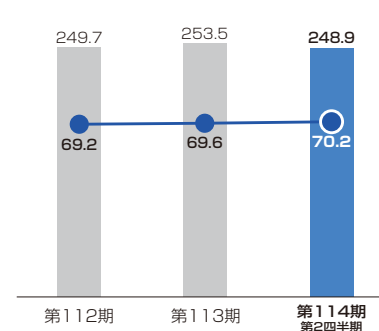


純資産 (単位:億円)

■ 第2四半期 ■ 通期

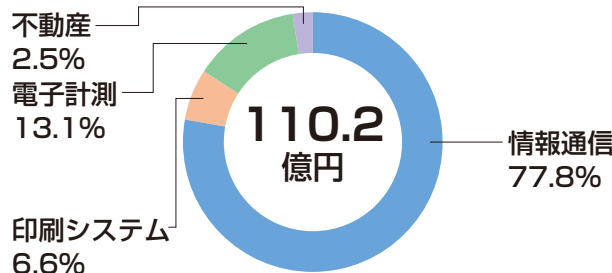
自己資本比率 (単位:%)

● 自己資本比率



# セグメント別概況(連結)

## 売上構成比 (当第2四半期)



### 情報通信

売上収益 85.8億円  
前年同期比 0.7%増



#### ●売上収益

生産子会社における受託生産が部材調達難により減少したものの、ビジネスホンとコンタクトセンタソリューションの増加により、売上収益は85.8億円で前年同期比0.7%の増収となりました。

#### ●セグメント損益

売上収益は増加したものの、原材料コストの上昇等による原価率の悪化により、セグメント利益は3.9億円となり、前年同期比1.3億円の減益となりました。

### 印刷システム

売上収益 7.3億円  
前年同期比 6.4%減



#### ●売上収益

主に消耗品が前期末の価格改定前の駆け込み需要の反動で減少したことにより、売上収益は7.3億円で前年同期比6.4%の減収となりました。

#### ●セグメント損益

売上収益は減少したものの、販売費及び一般管理費の減少により、セグメント利益は1.2億円の損失となり、前年同期と比べ横ばいとなりました。

### 電子計測

売上収益 14.4億円  
前年同期比 10.0%増



#### ●売上収益

主に電子部品が増加したことにより、売上収益は14.4億円で前年同期比10.0%の増収となりました。

#### ●セグメント損益

売上収益の増加に伴い、セグメント利益は0.4億円となり、前年同期比0.3億円の増益となりました。

### 不動産

売上収益 2.7億円  
前年同期比 26.8%増

#### ●売上収益

主に賃貸用不動産の入居率の改善に伴い、売上収益は2.7億円で前年同期比26.8%の増収となりました。

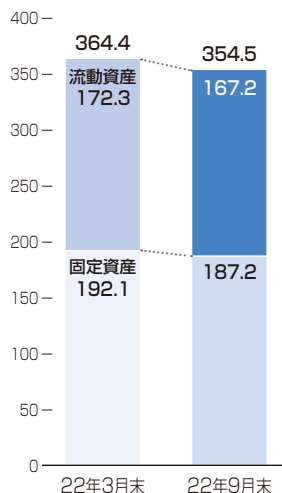
#### ●セグメント損益

主に売上収益の増加に伴い、セグメント利益は0.7億円となり、前年同期比0.4億円の増益となりました。

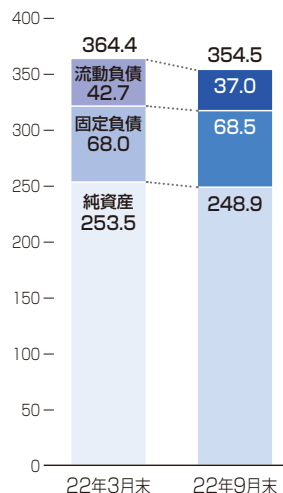
# 財務諸表(連結)

## 連結貸借対照表の概要 (単位：億円)

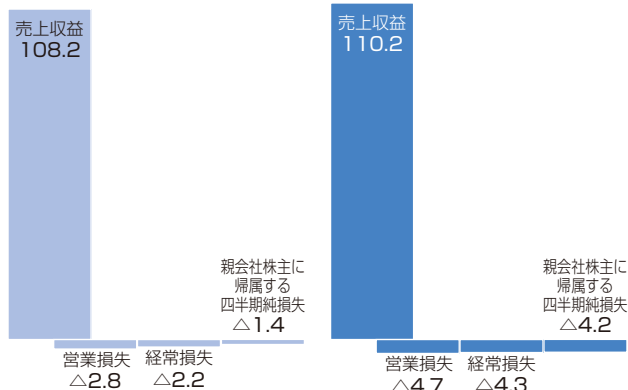
### 資産合計



### 負債・純資産合計



## 連結損益計算書の概要 (単位：億円)



前第2四半期累計 (21年4月1日~9月30日)

当第2四半期累計 (22年4月1日~9月30日)

## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：億円)

	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期	前年同期比	主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	10.1	△0.5	△10.7	●営業キャッシュ・フロー △0.5億円 税金等調整前四半期純損失 △4.1 減価償却費 +5.3 売上債権の減少額 +9.4 棚卸資産の増加額 △7.0 仕入債務の減少額 △3.0 等
投資活動による キャッシュ・フロー	△3.9	△1.8	+2.1	●投資キャッシュ・フロー △1.8億円 有形固定資産の取得による支出 △1.2 等
フリー・キャッシュ・フロー	6.3	△2.3	△8.6	●財務キャッシュ・フロー △2.5億円 配当金の支払額 △2.5 等
財務活動による キャッシュ・フロー	△4.0	△2.5	+1.5	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	55.9	53.2	△2.7	

(注) P2~P4は百万円未満を四捨五入で表示しています。

## 印刷分野で培った化学技術による新たな市場の創出を目指し 岩通ケミカルクロス(株)を設立

2022年10月、当社の印刷システム事業と印刷関連材料の開発・生産拠点であった岩通マニュファクチャリング(株)の栃木事業所を統合し、新会社「岩通ケミカルクロス(株)」を設立しました。

印刷関連製品の開発・生産・販売機能を集約することで事業の効率化を図るとともに、これまでの印刷事業で培った「化学」の分野における研究開発力・技術力をさらに発展させ、環境負荷を軽減するサステナブルな商品を充実させてまいります。

「ケミカルクロス」という社名には、「これまで培ってきた化学(ケミカル)技術を多種多様な分野と掛け合わせ(クロス)、既存・新規を問わずお客様の懸け橋となるような存在でありたい」という思いが込められています。



### 会社概要

所在地 東京都杉並区久我山1丁目7番41号  
TEL 03-5344-9211

代表者 代表取締役社長 百武 勇人

資本金 50百万円

設立 2022年(令和4年)10月3日

 岩通ケミカルクロス Webサイト  
<https://www.iwatsu.co.jp/icc/>



### 製品・サービスのご紹介



- ・デジタル製版機
- ・マスターペーパー
- ・現像液・エッチ液
- ・自動給紙装置



- ・透明導電材料
- ・気化性防錆紙
- ・硫化ガス吸着剤
- ・磁気ストライプ用紙



- ・テスト塗工
- ・裁断加工
- ・分散/溶解
- ・粉体充填加工



- ・アルコール除菌剤  
ALMEE(アルミー)
- ・弱酸性次亜塩素酸パウダー  
Ziame(ジアミー)

当社では岩通ケミカルクロス(株)の設立と同時に、中期経営計画の推進を強化するため営業体制を見直しいたしました。  
詳細は当社Webサイトにてご覧ください。



岩崎通信機 Webサイトニュースリリース  
<https://www.iwatsu.co.jp/newsrelease/>



# ESGへの取り組み

環境や社会への取り組みにおける企業が果たすべき役割が大きくなる中、当社中期経営計画では、事業とサステナビリティを一体のものとして捉え、ESG経営の推進によって企業価値向上と持続的成長を追求していくことを基本方針に掲げています。当社におけるE(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)それぞれの重要課題や活動テーマを定め、事業を通して持続可能な社会の実現に貢献できるようグループ全体で推進してまいります。

## サステナビリティ基本方針

私たちは、企業理念のもと、人とモノを繋ぐコミュニケーション技術の提供により、企業や企業で働く人々の成長・発展を支援し、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します。

## TCFDへの賛同を表明

2022年8月、当社はTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言に賛同を表明するとともに、TCFD提言に賛同する企業や金融機関等が連携するTCFDコンソーシアムに参画いたしました。今後は「ガバナンス」「戦略(リスクと機会の分析)」「リスク管理」「指標と目標」に関する情報開示に取り組んでまいります。



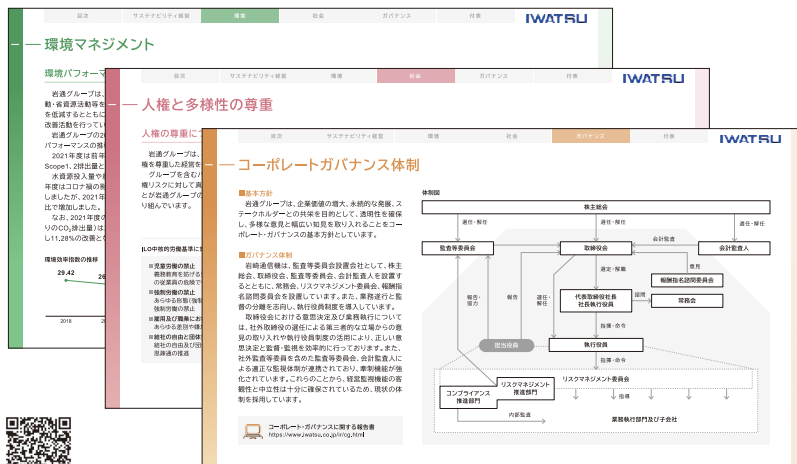
## サステナビリティレポートを発行

サステナビリティ経営に対する考え方や、持続可能な環境と社会への課題に関する当社グループの取り組み・活動内容、ガバナンス体制等をまとめた「サステナビリティレポート2022年度」を2022年10月より当社Webサイトで公開いたしました。



当社Webサイトにて全文を公開しておりますので、是非ご覧ください。

サステナビリティレポート-2022年度  
[https://www.iwatsu.co.jp/company/environment/envreport/sustainability\\_report2022.pdf](https://www.iwatsu.co.jp/company/environment/envreport/sustainability_report2022.pdf)



# 株式の状況 (2022年9月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	10,080,344株
株主数	5,825名(7,572名)

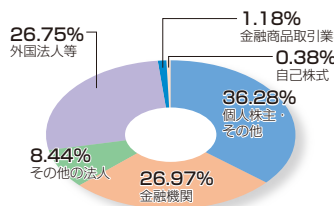
(注) ( )は単元未満株所有株主を含む株主数です。

## 大株主

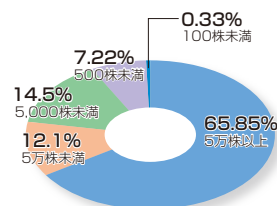
氏名又は名称	所有株式数(株)	持株比率
The Hongkong and Shanghai Banking Corp. Ltd.	2,277,900	22.68%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	934,600	9.31%
株式会社三菱UFJ銀行	498,135	4.96%
株式会社日本カストディ銀行	485,800	4.84%
日本生命保険相互会社	300,255	2.99%
明治安田生命保険相互会社	300,065	2.99%
岩通協力企業持株会	236,456	2.35%
岩通グループ従業員持株会	193,301	1.92%
加賀電子株式会社	151,300	1.51%
岩通販売店持株会	139,513	1.39%

(注)持株比率は自己株式(38,338株)を控除して計算しております。

## 所有者別分布状況 (持株比率)



## 所有株数別分布状況 (持株比率)



# 企業情報 (2022年9月30日現在)

## 会社概要

設立 1938年8月14日  
資本金 60億円  
従業員数 連結：1,258名 単体：433名 (2022年3月31日現在)  
本社 〒168-8501 東京都杉並区久我山1-7-41  
TEL.03-5370-5111

## グループ会社

生産 岩通マニュファクチャリング(株)、岩通マレーシア(株)  
販売 岩通ネットワークソリューション(株)、電通サービス(株)  
ソフトウェア 岩通ソフトシステム(株)  
修理 東通工業(株)  
サービス 岩通ビジネスサービス(株)  
ITサービス groxi(株)  
印刷・化学 岩通ケミカルクロス(株) (2022年10月3日現在)

## 役員

取締役	取締役(監査等委員)
代表取締役社長 木村 彰吾(社長執行役員)	取締役 西村 隆治
取締役 相浦 司(常務執行役員)	取締役 佐藤 修
取締役 下村 規夫(執行役員)	社外取締役 三木 康史
取締役 小野口匡史(執行役員)	社外取締役 伊藤 彰敏
取締役 時田 英典(執行役員)	社外取締役 河本 茂
社外取締役 中島 秀之	
社外取締役 沖 恒弘	

# 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL.0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	当社の公告方法は電子公告により行っています。 公告掲載URL <a href="https://www.iwatsu.co.jp/koukoku/">https://www.iwatsu.co.jp/koukoku/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国各支店でもお取次ぎしております。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ

## 岩崎通信機株式会社

〒168-8501 東京都杉並区久我山1-7-41 総務人財部/TEL.03-5370-5111  
URL <https://www.iwatsu.co.jp/>